

2022年度 英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト

英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト実行委員会

開催日…2022年11月12日

開催方法…対面で実施

エントリー方法…10月3日～10月7日に原稿を提出し、複数の担当教員の匿名原稿審査によって、出場者を決定する。

予選応募人数…27名

本選出場…22名

運営…主催 外国語学部英語英文学科

共催 人文学会

概要

2022年11月12日(土)に英語英文学科主催第21回 English Speech & Presentation Contest がみなどみらいキャンパス(米田吉盛記念ホール)で開催されました。今年は3年ぶりに対面での実施となり、学生、教員等合わせて計170余名が参加しました。個人スピーチ部門および昨年から導入されたグループ・プレゼン部門で、22名の出場者が、それぞれ思い出に残る個人の経験や、多文化共生、ジェンダー、言語とアイデンティティなどSDGsに関するテーマについて、パワーポイントを用いながら発表してくれました(コンテストの出場者および審査結果は下記の通りです)。また、コンテストの運営にあたっては、今年も30

名の英語英文学科の1年～4年生がボランティアスタッフとして協力してくれ、昨年以上に中身の濃い、充実したコンテストとなりました。

コンテストの出場者リスト

〈個人発表〉

1. Ryuki Nakamura “Where There Is Life, There Is Hope.” (2位)

2. Hanan Nakajima “Improving Our Educational Systems”

3. Shunsuke Aihara “Live Each Day Fullest.” (1位/オーディエンス賞)

4. Kosei Takizawa “The Impact of COVID-19 on the World and Students, Life,”

5. Kotomi Kaneko “Supporting ‘Newcomers, to Japan.’” (3位)

〈グループ発表〉

1. Miharuru Suzuki, Misaki Hakuta, Nodoka Mukobashi, Hinako Okuyama

“Language Pac-man Eats Up Local Identity.” (1位)

2. Airi Ishida, Ami Kobayashi, Ran Watanabe

“Disaster-Related Multilingual Services in Yokohama.” (2位)

3. Sena Minegishi, Kojiro Yaguchi, Keisuke Mitsuhashi

“Breaking Gender Stereotypes.” (オーディエンス賞)

4. Natsuki Sato, Yudai Sakiyama, Riho Sasaki, Satoko Nakauchi

“How Are English Communication Skills Important for Our Future Career?”

5. Sergio Akamine, Masato Kameyama, Satoru Shimazu

“Maintaining the Native Language and Identity.” (3位)

2022年度スピーチ&プレゼンテーションコンテスト学生スタッフ9名と出場者2名の感想

1. 総監督

外国語学部 英語英文学科4年 小野 楓

昨年に引き続き、スタッフとして参加させていただきました。昨年は4年生に支えられながら活動することができた中で、今年は責任者として自分の仕事を果たしつつ、周りを見ながら他の係に対して適切に指示を出すという点にとっても苦労しました。しかし、頼れる他の総監督の2人や4年

生のスタッフ、下級生のスタッフ、そして何より教授や共同研究室の方々に支えられながらなんとか役割を果たすことができました。リバーサル期間中から本番まで常に不安な気持ちでしたが、出場者の方々をはじめコンテストに関わる全ての人たちのおかげで無事にイベントを終えることができ、とてもホッとしました。このイベントに関わったすべての人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。ぜひ来年以降も素晴らしいコンテストであってほしいと思っています。

2. 総監督

外国語学部 英語英文学科4年 笹崎 颯

昨年はカメラスタッフとして参加させていただきましたが、今年は総監督としてスピコンに参加させていただきました。今年のコンテストは対面で行い、遠隔で実施した昨年とは異なる点も多く、尚且つ私自身一つの係ではなく全体を見る必要がある役職になるなど、変化が多いコンテストでした。やることに追われ空回りしてしまうこともありましたが、他の総監督やスタッフの方々に助けていただき、なんとか成功で終わることができました。今回のコンテストを見た方の中で、自分もスタッフやスピーカーとして参加したいと思うてくださる方がいらしたら、とても嬉しいです。コンテストに関わってくださいました方々、本当にありがとうございました

3. 総監督

外国語学部 英語英文学科4年 宮川 真幸

昨年度のスピーチ&プレゼンテーションコンテストに引き続き今年度も参加させていただきました。総監督というポジションでありながら、MCのコーチングも担当させていただきました。対面でのコンテストは初めてであり、緊張もありましたが、スタッフや先生方、スピーカーの協力もあり、無事終えることが出来ました。リハーサルや練習時のハプニングもありながら、全体を束ねつつ、MCの練習にも努めることが出来たと思います。4年生という大学生活ラストで、このような素晴らしいイベントに参加できたことを、そして自分の役割を最後まで責任を持って取り組めたことを誇りに思います。最後に、この英文科一大行事に携わっていただいた全ての方に、感謝します。本当にありがとうございました。

4. 会計係

外国語学部 英語英文学科4年 石澤 優菜

今回、会計係として初めてスピーチコンテストに携わらせていただきました。会計係は、外部の方とも多く関わりを持つ仕事となるので、メンバー内や担当教員との細やかな報連相が重要だと思いました。本番当日は、各スタッフが連携を取り、スピーチコンテストを進行できたため、成功へと導くことができました。出場者の方々にとって貴重な時間を作り上げることができたのも、スタッフの皆さんや先生方の支えがあつてこそだと

実感しました。来年もまた、このようなスピーチコンテストを盛り上げていって欲しいです！スタッフの皆さん、先生方ありがとうございました。

5. 音響係

外国語学部 英語英文学科4年 中山 海璃

ゼミの先生や友人に誘われて、去年に引き続きスタッフとしてスピーチコンテストに携わりました。去年は完全にオンライン開催で、本番に参加するスタッフの人数はかなり限られていたこともあつて、私は当日の仕事がありませんでした。今回初めて最初から最後まで参加することができてよかったです。みなとみらいの会場で有人開催をするのは初だったので様々な課題が見つかりましたが、次年度以降のスタッフの方々にはより良いコンテストに仕上げていって欲しいです。スタッフは楽しかったです、皆様ありがとうございました。

6. 音響係

外国語学部 英語英文学科4年 藤井 竜也

一昨年は中止、去年はオンライン開催となったスピコンが今年対面でできたことはとても良かったなと思った。4年生になつて学校に行くことも少なくなり、後輩とも関わる機会が少なかったのも、スタッフとして学校の行事に参加できたのはとても良い経験になった。久しぶりの対面開催ということで、わからない部分も多くあったが、あの広い講堂を使って特別な空間を作り出すことが

できた時には達成感を覚えた。しかし、白楽キャンパスのセレストホールに比べると、照明やマイクなどの設備の違いなどが浮き彫りになり、1年生の時にスタッフをやっていた私は少し寂しさもあった。特に音響に関しては、スマホやパソコンを講堂内のスピーカーに繋げる部分がほぼなく、パワポを起動するパソコン分だけで目一杯になってしまった。セレストホールから米田吉盛ホールに変わったため、どの仕事が必要でどの役職が必要なくなったのか、新たな改善点が見つかったコンテストになった。

7. 出場者担当

外国語学部 英語英文学科4年 友水 優月
4年間、スタッフを務めさせて頂きました。毎年違った発見があり、様々な人と関わって、多くの事を学ばせて頂いたと実感しています。また、学部がみなとみらいキャンパスに移ったことで、去年から会場も新しくなりました。まだ体制が確立されておらず、これから多くの調整が必要であると感じています。そのなかで、今年もスタッフ全員で試行錯誤を重ね協力し合い、素晴らしいコンテストになりました。スタッフとして参加することで、出場者の方を間近で応援し、微力ながら支えさせて頂けるのがやりがいでした。ぜひ、これからの新しいコンテスト体制を皆さんに創り上げていってほしいです。4年間ありがとうございました。

8. 出場者担当

外国語学部英語英文学科4年 一寸木 真莉子
1年次から3度にわたり、この英文科ならではのコンテストにスタッフとして携わることができ、貴重な経験をさせて頂きました。出場者の皆様はもちろん、同じ学生スタッフの真剣な姿勢に、学ぶものがたくさんありました。何よりのやりがいはいは、出場者の皆様がどのようにして、国際的な、あるいは社会的な問題を考えているのかを知ることができ、堂々とプレゼンする皆様の姿を最も近くで見られたということです。2020年度には、コロナウイルスの影響で中止になりましたが、昨年と今年のコンテストを経験し、やはり途切れずに続けていってほしいイベントだと改めて感じました。出場者、学生スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

9. MC

外国語学部 英語英文学科2年 板垣 翔太
はじめに、この度のスピーチコンテストにてMCを担当できたことをとても嬉しく思います。そして、スタッフをはじめ監督の先輩方、運営のご指導をしていただいた先生方、MC原稿の添削をしていただいた先生に心からの感謝を申し上げます。私は人前に立つことが苦手で、またリーダーシップもありません。しかし、貴重な大学時代に一つでも思い出を作りたいと考えていました。スピーチコンテストのMCという経験から私は、失敗を恐れず前向きになって物事に挑戦することの

大切さを学ぶことができました。MCは臨機応変にコンテストの舵を取ることが必要で、とても一筋縄ではいきませんが、リハーサル期間にはスタッフの皆さんと交流しながら楽しく取り組むことができ、短い間ではあるものの充実した経験となりました。コロナ禍もあり本来の大学生活を送ることが難しい中自己を見失いがちであった私にとって、この上ないチャレンジとなったことが大満足です。この度は本当にありがとうございました。

10. 個人発表1位入賞

外国語学部 英語英文学科1年 相原 春佑
私はスピーチコンテストで1位入賞することができましたが、結果よりもおおきなものを得たと思います。スピーチの後、見に来てくれた友達や先生、そしてともにスピーチをした仲間からもらった「感動した」、「すごかった」などの言葉をたくさんもらえました。そのことから自分の言葉で人を感動させることは素晴らしいことだと学びました。

11. グループ発表1位入賞

外国語学部 英語英文学科3年 鈴木 美晴
沢山の周りの人の協力、そしてメンバーが一人でも欠けていたら取れなかった賞でした。プレゼンに関わってくれた一人ひとりに、本当に感謝しています。また、一度は出れるレベルに持っているか心配でしたが、チームの皆の力と熱意が圧



巻でした。このチームで出ることができて、生涯に残る素敵な思い出になりました。



11月13日米田吉盛ホールにてコンテスト開催当日撮影